

**FAX 0537-23-618**

元旦1日(日)～4日(水) ※ 30日(金)は試行開館いたします。



● 中央図書館 おはなしのへや

## ● 中央図書館 おはなしのへや



★ どんな絵本を読んだらいいのかナ…という方のために ★

● 持ち物 : はさみ

**申込は不要です。お気軽にどうぞ！**



**平成17年度歴史講座 第3回**

「歴史散歩 高天神城」 高天神城現地見学会

講師：鬼沢 勝人さん (教育委員会文化財係)

内容：現場を歩きながら臨場感あふれる話をしてもらいます。

この回は現地集合ですが、バスも用意します。事前に申し込んでください。

日時：12月18日（日）10：00～12：00

バス出発時間 : 中央図書館 9:30

高天神現地集合 : からめて門駐車場 10:00

\* 参加は無料です。バスは定員がありますので、希望される方は事前に中央図書館までお申し込みください。



「掛川路上探偵団…ずっとあたためていた事…」



今回の話は6年前にさかのぼります。ある人が掛川の空をふと見上げたその先に「ワッ！ クレムリン宮殿がある」と感動したことに始まります。

掛川消防署（市内仁藤）の端っこに『火の見やぐら』が建っている事、ご存じですか？  
今の小学生に聞いても知っている子は何人いるのでしょうか？それほど遠い存在になっています。

ましてや消防署のそれが、シンボルではなく実際に使われていたとは信じられないほど美しく、華麗なデザインです。

誰が考え、誰が作ったの?という疑問。図書館の本にその答えを見つけられず、諦めていたところ、「あれは、掛川城の敷地にあったものを俺らが塗り直して、今の消防署の所に移しただよ。」という古老に出会いました。それを糸口に、するすると色々な疑問が氷解していき、ついには『火の見櫓は「遺産」かゴミか(2005年5月出版)』(K519)という報告書を手にするに及んで、胸のつかえが降りたようでした。

それには、横須賀の寺田正一さんの聞き書きも紹介され、「火の見鍛冶」と呼ばれた職人達がどれほどの情熱を傾けたか、又それを喜んだか、戦後の日本の姿も読み取ることができました。

(担当：F)